

# AUTOMOBILE PARTS SELLING SYSTEM

Publication number: JP2001188834

Publication date: 2001-07-10

Inventor: FUJIMOTO ISAO; SATO SHINICHI

Applicant: AKEBONO BRAKE IND

Classification:

- international: G06F13/00; G06Q10/00; G06Q30/00; G06Q50/00;  
G06F13/00; G06Q10/00; G06Q30/00; G06Q50/00;  
(IPC1-7): G06F17/60; G06F13/00

- European:

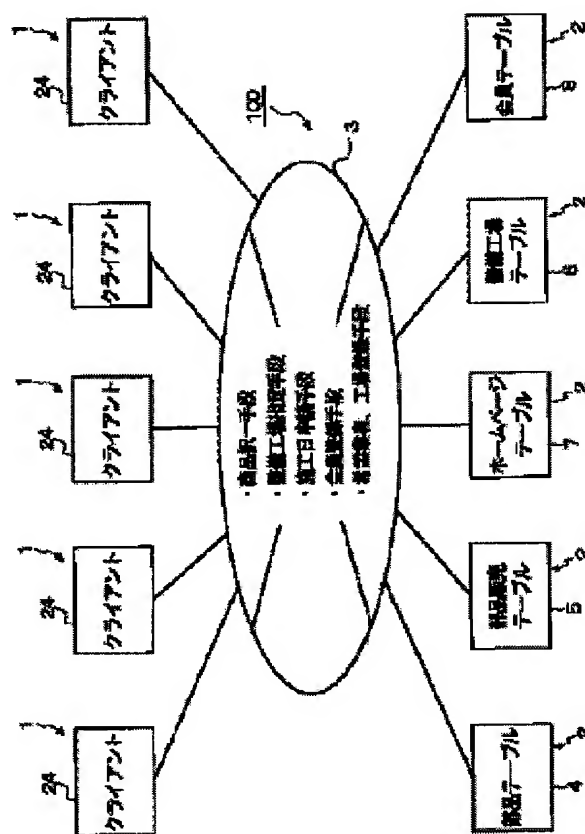
Application number: JP19990371960 19991227

Priority number(s): JP19990371960 19991227

Report a data error here

## Abstract of JP2001188834

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide an automobile parts selling system capable of securing the easiness of obtaining components and the easiness of securing a maintenance shop for mounting for a user side and making a parts seller and a maintenance shop side positively participate in the sales network of parts makers. **SOLUTION:** This system is provided with a server and a client connected through a network. On the server side, a component table having automobile parts to be sold stored therein, a parts sales table having the parts sellers selling the parts stored therein and a maintenance shop table having the maintenance shops for attaching the parts to automobiles recorded thereon are provided. When the client selects the parts by referring to the parts table, the parts are sent from the component seller to the maintenance shop. For the parts charge, an approval processing is performed between the client and the component seller trader. A specifying means for specifying the maintenance shop in an area desired by the client corresponding to the demand of the client is provided and the maintenance shop corresponding to the demand of the client is introduced.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-188834

(P2001-188834A)

(43) 公開日 平成13年7月10日 (2001.7.10)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーブル* (参考)	
G 0 6 F 17/60		G 0 6 F 13/00	3 5 5	5 B 0 4 9
13/00	3 5 5	15/21	3 3 0	5 B 0 8 9

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 30 頁)

(21) 出願番号 特願平11-371960

(22) 出願日 平成11年12月27日 (1999. 12. 27)

(71) 出願人 000000516

曙ブレーキ工業株式会社

東京都中央区日本橋小網町19番5号

(72) 発明者 藤本 功

東京都中央区日本橋小網町19番5号曙ブレーキ工業株式会社内

(72) 発明者 佐藤 信一

東京都中央区日本橋小網町19番5号曙ブレーキ工業株式会社内

(74) 代理人 100089244

弁理士 遠山 勉 (外2名)

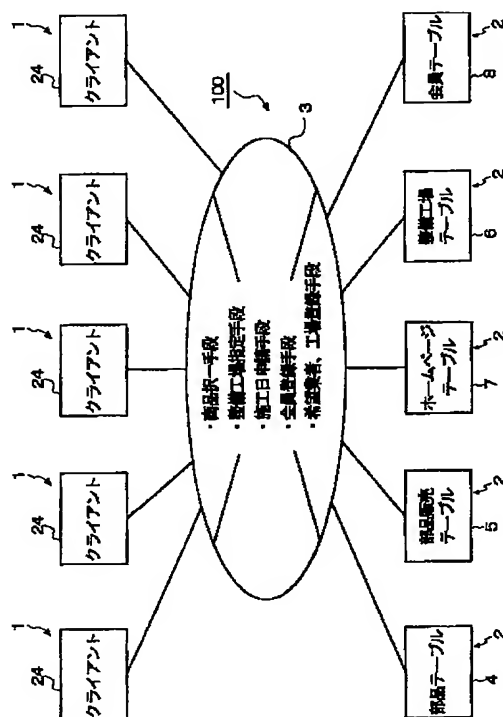
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 自動車部品販売システム

(57) 【要約】

【課題】 ユーザ側にとって、部品の入手の容易性、装着のための整備工場の確保の容易性を確保できるとともに、部品販売業者や整備工場側から積極的に部品メーカーの販売網に参加できる自動車部品販売システムを提供する。

【解決手段】 ネットワークを介して接続されるサーバーとクライアントとを備え、前記サーバー側には、販売すべき自動車部品を記憶した部品テーブルと、その部品を販売する部品販売業者を記憶した部品販売テーブルと、その部品を自動車に取り付ける整備工場を記録した整備工場テーブルと、を備え、前記部品テーブルを参照してクライアントが部品を選択すると、前記部品販売業者から前記整備工場に部品が送られるとともに、その部品代金については、クライアントと部品販売業者との間で決裁処理を行うこととし、クライアントの要望に応じてクライアントが所望する地域の整備工場を指定する指定手段を備え、クライアントの要望に応じた整備工場を紹介する。



**【特許請求の範囲】**

**【請求項 1】** ネットワークを介して接続されるサーバとクライアントとを備え、

前記サーバ側には、販売すべき自動車部品を記憶した部品テーブルと、その部品を販売する部品販売業者を記憶した部品販売テーブルと、その部品を自動車に取り付ける整備工場を記録した整備工場テーブルと、を備えており、

前記部品テーブルを参照して前記クライアントから選択された自動車の仕様に応じた部品につき、前記部品販売業者からユーザーまたは前記整備工場に部品を送るよう指示し、

クライアントの要望に応じてクライアントが所望する地域の整備工場を指定する指定手段を備え、

クライアントの要望に応じた整備工場を紹介することを特徴とする自動車部品販売システム。

**【請求項 2】** 部品代金については、クライアントと部品販売業者との間で決裁処理を行うこととした請求項 1 に記載の自動車部品販売システム。

**【請求項 3】** 前記サーバは、クライアントにより選択した車種名に対応して表示される、その車種の排気量、型式、年式、その他の仕様の何れかの指定をクライアントからさらに受け、その指定した仕様に対応した商品群を前記部品テーブルを介して提示する商品択一手段を備えた請求項 1 に記載の自動車部品販売システム。

**【請求項 4】** クライアントの希望により会員テーブルに当該クライアントを登録する会員登録手段と、当該クライアントの望む部品販売業者あるいは整備工場を登録する希望業者・工場登録手段を有することを特徴とする請求項 1 に記載の自動車部品販売システム。

**【請求項 5】** クライアントが商品を選択するとともに、整備工場を指定した場合に当該整備工場の住所、電話番号、営業時間、及び整備工場のサービス内容のうち少なくとも一つを提供することを特徴とする請求項 1 に記載の自動車部品販売システム。

**【請求項 6】** クライアントが、整備工場に取付サービスの施工希望日を申請する施工日申請手段を備えるとともに、施工日申請手段で申請された希望施工日を整備工場に通知する希望施工日通知手段を備え、さらに、整備工場側からその施工希望日において取付サービスを施工可能かどうかを知らせる通知手段を備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の自動車部品販売システム。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

**【発明の属する技術分野】** 本発明は、インターネットのようなネットワークを媒体として、自動車部品を販売するシステムに関する。

**【0002】**

**【従来の技術】** 従来、例えばブレーキパッドやシューなどの自動車部品は、部品メーカーから、特定の部品販売

業者へと流通し、さらに末端の小売り業者からユーザーに販売されている。

**【0003】** ユーザーは、自動車部品を自分で車に装着する場合は、小売業者から直接購入し、装着するが、自分で装着できない場合は、小売業者から整備工場を紹介してもらうか、あるいは、当初から小売業者から部品を購入せず、保安基準により指定された整備工場に車を持ち込み、整備工場側に部品の購入から装着までを依頼するというのが常であった。

**【0004】**

**【発明が解決しようとする課題】** このような販売形式であると、自分の望む部品であっても、簡単に装着できない、あるいは、整備工場頼みであると所望の部品が手に入りにくい、代金の決済を小売業者、整備工場等でそれぞれしなければならない、小売業者、整備工場をそれぞれ自分で探さなければならない、どの整備工場がよいのか必ずしも容易にわからない、等種々の問題があり、ユーザー側にとって部品入手、装着に不具合が多かった。

**【0005】** さらに、部品販売業者や整備工場側から見れば、これまでは、系列以外の部品のみを扱い、他の系列の部品の入手は不能であったり、また、部品メーカーからの情報も容易には入手できないなどの問題もあった。本発明は、このような従来の不具合に鑑み、ユーザー側にとって、部品の入手の容易性、装着のための整備工場の確保の容易性を確保できるとともに、部品販売業者や整備工場側から積極的に部品メーカーの販売網に参加できる自動車部品販売システムを提供することを課題とする。

**【0006】**

**【課題を解決するための手段】** 本発明は、前記課題を解決するため以下の手段を採用した。すなわち、本発明は、インターネットなどのネットワークを介して接続されるサーバとクライアントとを備え、前記サーバ側には、販売すべき自動車部品を記憶した部品テーブルと、その部品を販売する部品販売業者を記憶した部品販売テーブルと、その部品を自動車に取り付ける整備工場を記録した整備工場テーブルと、を備えており、前記部品テーブルを参照して前記クライアントから選択された自動車の仕様に応じた部品につき、前記部品販売業者からユーザーまたは前記整備工場に部品を送るよう指示し、クライアントの要望に応じてクライアントが所望する地域の整備工場を指定する指定手段を備え、クライアントの所望に応じた指定整備工場を紹介することを特徴とする自動車部品販売システムである。ユーザーは、自らが部品の取付けを行うことができる場合を除き、整備工場を指定する。また、その部品代金については、クライアントと部品販売業者との間で決裁処理を行うこととするといふ。

**【0007】** なお、サーバは、部品メーカーの主催するコンピュータシステムであり、一方、クライアントはネ

ットワークに接続された、ユーザー側のコンピュータシステムであるが、クライアントというときユーザー自体を意味することがある。ネットワークは、インターネットが最も利用価値が高いが、独自に構築した通信ネットワークでもよいことはもちろんである。

【0008】ここで、前記サーバは、クライアントにより選択した車種名に対応して表示される、その車種の排気量、型式、年式、その他の仕様の何れかの指定をクライアントからさらに受け、その指定した仕様に対応した商品群を前記部品テーブルを介して提示する商品選択手段を備えると所望の部品選択が容易である。

【0009】部品販売業者、整備工場はそれぞれ、サーバに登録されているとともに、ネットワークを介して接続されるコンピュータ端末を備えている。新規部品販売業者、新規整備工場は、申請書によりサーバ主催者に申請すること、あるいは、端末からの電子的な申請により直接サーバに登録することも可能である。

【0010】また、クライアントの希望により会員テーブルに当該クライアントを登録する会員登録手段と、当該クライアントの望む部品販売業者あるいは整備工場を登録する希望業者・工場登録手段とが設けられ、クライアントは、自らの希望により会員登録をすることができる。

【0011】サーバ主催者は登録された会員に一定の情報サービス等のサービス提供が可能となるので、部品の購買意欲の促進等販売促進活動を容易に行うことができる。

【0012】一方、ユーザーは、自らが望む整備工場や部品販売業者を登録することで、ユーザー会的なグループを構築でき、販売業者等からの適切なサービスを受けやすくなる。

【0013】また、クライアントが商品を選択するとともに、整備工場を指定した場合に当該整備工場の住所、電話番号、営業時間、及び整備工場のサービス内容のうち少なくとも電話番号を提供するようにすると、整備工場への連絡等が可能となり、自ら整備工場を探す手間が省ける。

【0014】クライアントが、整備工場に取付サービスの施工希望日を申請する施工日申請手段を備えるとともに、施工日申請手段で申請された希望施工日を整備工場に通知する希望施工日通知手段を備え、さらに、整備工場側からその希望施工日において取付サービスを施工可能かどうかを知らせる通知手段を備えるならば、部品の取付けを自らする場合は除き、部品取付のサービス日程を容易に決定できる。

【0015】以上の各構成は、可能な限り適宜組み合わせてもよい。

【発明の実施の形態】本実施の形態は、ブレーキパッド等の自動車部品（以下、商品と称す）を製造する部品メーカー2と、インターネット100に接続されたユーザ

ー（以下、クライアントと称す）との間に、インターネット100を介して構築された自動車部品販売システムについての実施例である。以下、本発明の実施の形態を図面を参照して説明する。

＜実施の形態の構成＞図1は、実施の形態に示すシステムの概略図である。このシステムは、部品メーカー2側に設けられクライアント1に商品の情報を提供する商品情報提供装置3と、クライアント1側に設けられインターネット100を介して商品情報提供装置3に接続し商品情報提供装置3の情報を閲覧可能な複数のユーザー端末24と、から構成されている。

【0016】商品情報提供装置3は、WWW（ワールド・ワイド・ウェブ）を介して相互に接続する商品管理用サーバ21と、通信管理用サーバ22と、前記各サーバ21、22にデータを入力するための端末コンピュータ23などから構成されている。また、ユーザー端末24は、WWW（ワールド・ワイド・ウェブ）に接続可能なコンピュータからなる。すなわち、インターネット100に接続可能なパーソナル・コンピュータ等で構成されている。ここで、WWW（ワールド・ワイド・ウェブ）とは、インターネット100上に設けられた無数のサーバの間を、相互に接続する広域情報網を意味する。

【0017】商品情報提供装置3に設けられる商品管理用サーバ21には、部品メーカー2が端末コンピュータ23を用いて作成した複数のデータベースが構築されている。このデータベースには、自社の販売する商品（ブレーキパッド）に関する複数のデータを記録した部品テーブル4と、自社製品を取扱う自動車部品販売業者に関する複数のデータを記録した部品販売テーブル5と、部品メーカー2と提携した整備工場に関する複数のデータを記録した整備工場テーブル6とが設けられている。

【0018】ここで各テーブル4、5、6に記録されるデータをより詳細に説明すると、部品テーブル4に記録された商品に関するデータとしては、商品の車種対応表、商品の取付位置、商品の名称、商品の特徴、商品の価格等のデータがあげられる。また、部品販売テーブル5に記録された部品販売業者のデータとしては、その所在地、電話番号、営業時間、定休日、最寄りの地図等のデータがあげられる。また、整備工場テーブル6に記録される整備工場に関するデータとしては、その所在地、電話番号、営業時間、定休日、最寄りの地図、独自のサービス内容等のデータがあげられる。

【0019】そして、これら各データは、所定のURL（ユニフォーム・リファレンス・ロケータ）に基づいて商品管理用サーバ21に登録されている。なお、ここでURLとはインターネット100上のサーバに記憶されるデータの所在地を示すものである。また、商品管理用サーバ21には、前記各データと同様に所定のURLが付された部品メーカー主催のホームページに関するホ

ームページテーブル7も記録されている。

【0020】このホームページテーブル7には、ホームページを構成する画像、文章等のデータ、及び商品管理用サーバ21の前記各テーブル4、5、6内に記録されたデータの読み出しを容易にするアイコン等のデータからなる。

【0021】なお、アイコンとは、URLデータを含むコマンド（命令文）を絵文字等で表示したものであり、クライアント1がマウスなどの入力装置でそのアイコンをクリックすると、そのアイコンの持つデータに基づきサーバ内のデータが自動的に読み出される。

【0022】このように、商品管理用サーバ21は、クライアント1の指定するアイコンに付されたURL等を検索キーワードとして、その検索キーワードに対応した各種データを各テーブル、4、5、6及びホームページテーブル7より検索して読み出すことができる。

【0023】通信管理用サーバ22には、複数のユーザー端末24と電話回線等を利用して接続する複数の通信回線101が設けられている。そして、ユーザー端末24から任意のURLデータを受信するとインターネット100を経由してそのURLデータに基づくサーバにアクセスする。そして、そのアクセスしたサーバから当該URLに対応するデータを受信するとともに、そのデータをユーザー端末24へ送信する。すなわち、商品管理用サーバ21とユーザー端末24とを接続する中継装置といえる。

【0024】なお、商品管理用サーバ21と通信管理用サーバ22とは、同一サーバとすることもできる。また、通信管理用サーバ22の管理は通信管理者（プロバイダー）等の外部に委託することもできる。なお、代表的な通信管理者（プロバイダー）としては、ニフティ・サーブ、AOL（アメリカン・オン・ライン）等があげられる。また、商品管理用サーバ21は一つのみならず複数のサーバから構成してもよい。また、複数のサーバに対して1乃至2のテーブルを設けてもよい。

【0025】ユーザー端末24は、クライアント1がWWWブラウザ25を実行してインターネット100上のデータを閲覧するための端末である。なお、WWWブラウザとは、WWW（ワールド・ワイド・ウェブ）上のサーバに特殊な形式（HTML形式）で記録されるデータを解析して画像、文章等に再変換するためのソフトウェアである。代表的なブラウザソフトウェアとしては、インターネット・エクスプローラー、ネットスケープ・ナビゲーター等があげられる。

【0026】そして、ユーザー端末24はWWWブラウザ25を制御する制御CPU（図示せず）、WWWブラウザ25で解析されたデータ（文章、画像等）を表示する表示装置26、WWWブラウザ25にURL等を含むコマンド（命令文）等を入力できるマウスやキーボードなどの入力装置27、その入力装置27で入力されたU

RL等のデータを通信管理用サーバ22に送信するモデム等の通信装置（図示せず）からなる。

【0027】本実施の形態に示す自動車部品販売システムはこのような装置を用いて行われる。なお、本発明の自動車部品販売システムは、インターネット100を介しての実施のみならず、勿論、他の情報伝達手段を介して行ってもよい。他の情報伝達手段とは、例えば無線、電話、LAN（ローカル・エリア・ネットワーク）などがあげられる。ここで、LANとは企業・団体などの任意の集合の中に設けられる小規模通信情報網である。

【0028】続いて、上記システムから構築される自動車部品販売システムをユーザー端末24の表示装置26に表示されるユーザーインターフェイスにつき説明する。これらは、インターネット100のWWWブラウザ25上に表示されるサーバ主催者（部品メーカー）2のホームページとして認識される。

【0029】まず、図3に示す画像Aの構成について説明する。この画像Aでは、商品管理用サーバのホームページテーブル7から読み出されるデータに基づき、ホームページのトップページ（見出し）がユーザー端末24の表示装置26上に表示される。詳しくは、ホームページの更新状況A1、メーカーのホームページのメニューを示すメニュー表示部A3などが表示される。なお、メニュー表示部A3には部品メーカー2の商品を購入できる商品販売メニューに対応した画像Bにリンクするアイコン（ネットショッパー Brake Time）A4等のアイコンが複数表示されている。

【0030】続いて、図5に示す画像Bの構成について説明する。この画像Bでは、商品管理用サーバ21のホームページテーブル7から読み出されるデータに基づき、そのホームページの商品販売メニューに対応したメインページが表示される。また、クライアント1が商品を選択して注文できる画像（ページ）Cにリンクされたアイコン（Flash使用）B1とアイコン（Flash未使用）B2が表示される。なお、ここでFlashとは動画を意味し、flashを使用することにより動画を含む画像が後のページで表示される。

【0031】また、図6に示す画像Cの構成について説明する。この画像Cでは、商品管理用サーバ21のホームページテーブル7から読み出されるデータに基づき、その商品販売メニューに関する説明事項が表示される。詳しくは、商品の選択手順C1、お申込みの訂正方法C2、価格に関する説明C3、支払い方法C4、注意事項等C5が表示される。また、画像Cの下方には商品の注文に必要な車種データ（車名、仕様等）を入力するための画像（ページ）Dにリンクしたアイコン（次へ）C6が表示されている。

【0032】また、図7に示す画像Dの構成について説明する。この画像Dでは、商品管理用サーバ21のホームページテーブル7及び部品テーブル4から読み出され

るデータに基づき、商品の選択に必要な車種データとして車輛メーカーを入力できる車輛メーカー一覧表D1が表示される。なお、その車輛メーカー一覧表D1の各車輛メーカーに対応したアイコン群(TOYOTA、NISSAN等)D2が表示される。

【0033】また、図8に示す画像Eの構成について説明する。この画像Eでは、商品管理用サーバ21のホームページテーブル7及び部品テーブル4から読み出されるデータに基づき、商品の選択に必要な車種データとして車名を入力できる車種設定枠E1が表示される。詳しくは、前記画像Dにて特定された車輛メーカーの販売する車種の車名を選択できる。また、その車名設定枠E1には選択した車種の車種仕様を選択できる画像Fにリンクしたアイコン(商品選択画面へ)E2が表示される。

【0034】また、図9に示す画像Fの構成について説明する。この画像Fでは、商品管理用サーバ21のホームページテーブル7及び部品テーブル4から読み出されるデータに基づき、商品の選択に必要な車種データとして車種の車種仕様を入力できる車種使用一覧表F1が表示される。この車種使用一覧表F1には、前記画像Eで指定された車名に対応する車種をその排気量、型式、グレード/装備、年式等が表示されている。そして、クライアント1はその車種仕様一覧から当該車種の車種仕様を選択する。また、各車種仕様ごとにその車種に装着可能な商品(ブレーキパッド)を選択できる画像(ページ)Dにリンクしたアイコン(選択)F2が付されている。

【0035】また、図10に示す画像Gの構成について説明する。この画像Gでは、商品管理用サーバ21のホームページテーブル7及び部品テーブル4から読み出されるデータに基づき、前記画像E、Fで特定された車種に装着する商品(ブレーキパッド)を選択できる商品振替一覧表G1が表示される。この商品振替一覧表G1には、部品メーカー2の販売する複数の商品(ブレーキ・パッド)がその性能、特製別に示されている。また、各商品には、その性能を表示する画像Hにリンクしたアイコン(説明)G2が付されるとともに、商品を指定するためのアイコン(□)G3が付されている。また、画面右下には商品の取付方法を選択できる画像Iにリンクしたアイコン(次へ)G4が表示される。

【0036】また、図11に示す画像Iの構成について説明する。この画像Iでは、商品管理用サーバのホームページテーブル7から読み出されるデータに基づき、商品の受取りに必要な情報として、商品の受取方法を選択できる受取方法選択枠I3が表示される。詳しくは、商品の受取り時に交換サービスを希望するためのアイコン(交換サービス付き(有料))I1と、商品の受取りのみを希望するアイコン(商品のみ購入)I2と、が設けられた受取方法選択欄I3が表示される。

【0037】また、図13に示す画像Jの構成について

説明する。この画像Jは、商品管理用サーバのホームページテーブル7及び整備工場テーブルから読み出されるデータに基づき、商品の受取場所(交換サービス施行場所)を入力できる都道府県一覧J1が表示される。この都道府県一覧J1には、交換サービスの施行場所となる都道府県名と、その都道府県名に対応する神奈川、東京、福岡、大坂等の名称に対応したアイコンJ2が付されている。なお、アイコンJ2は各都道府県の名称に加えて地域、地方名を入力できる画像Kにリンクされている。

【0038】次に、図14に示す画像Kの構成について説明する。この画像Kでは、商品管理用サーバのホームページテーブル7及び整備工場テーブルから読み出されるデータに基づき、より詳細な受取場所を指定できる地方・地域名一覧表K1が表示される整備工場の指定手段となる画像が表示される。詳しくは、この地方・地域一覧表K1では前記画像Jにて指定された都道府県に対応する地方、地域名が表示される。そして、その各々の地域、地方名に対応してアイコン(福岡、北九州、筑後等)K2が付される。なお、アイコンK2は、その地域、地方内に所在地を有する整備工場の選択ができる画像Lにリンクされている。

【0039】また、図15に示す画像Lの構成について説明する。この画像Lでは、商品管理用サーバのホームページテーブル7及び整備工場テーブルから読み出されるデータに基づき、交換サービスの施行場所を選択できる整備工場一覧L1が表示される。この整備工場一覧L1には、幾つかの整備工場名、及びその住所、電話番号、営業時間、定休日が表示される。また、各整備工場には最寄りの地図を示す画像Mにリンクしたアイコン(MAP)L2が付されるとともに、商品の交換サービスを希望する日程を指定する画像Nにリンクされたアイコン(選択)L3が表示される。

【0040】また、図16に示す画像Nの構成について説明する。この画像Nでは、商品管理用サーバの整備工場テーブルから読み出されるデータに基づき、交換サービスの施行日を指定できるカレンダーN1が表示される。詳しくは、このカレンダーN1は予め定められた期間内において第1希望日～第3希望日までを指定できる。また、このカレンダーN1の各日ごとに希望日指定用のアイコン(○)N2が表示される。そして、カレンダーの下方にはアイコン(○)N2で指定した希望日の設定用アイコン(希望日1、希望日2、希望日3)N3が表示される。

【0041】更に、カレンダーN1の右方には前記アイコンN2、N3によって指定された日程を表示する表示欄N4が設けられるとともに、その各々には希望日の設定を取り消すためのアイコン(リ)N5が付されている。また画像右下にはこれまで入力してきた各種情報を確認できる画像Oにリンクしたアイコン(次へ)N6が

表示されている。

【0042】また、図18に示す画像Oの構成について説明する。この画像Oでは、商品管理用サーバの部品販売テーブルから読み出されるデータに基づき、これまで入力された各種情報の一覧O1が表示されるとともに、クライアント1の個人情報を入力する申込み欄O2が設けられる。なお、この申込み欄O2には、図19に示したように、クライアント1の個人情報として、お名前、住所、電話番号、メールアドレス、質問等に関する個人情報をキーボードにて入力する。

【0043】また、この申込み欄O2の下方には商品の注文に至るいきさつなどをマウス又はキーボードにて入力可能なアンケート欄O3が設けられている。また、画像Oの最下方には申込みを確定するとともに、申込者となるクライアント1に受注番号を知らせる画像Pにリンクしたアイコン（申込み）O4が表示される。

【0044】また、図20に示す画像Pの構成について説明する。この画像Pでは、商品管理用サーバの部品販売テーブルを介して、注文の受認をクライアント1に知らせるメッセージP1が表示されるとともに、その注文に対応する受付番号P2が表示される。また、ホームページのトップページとなる画像Aにリンクされたアイコン（HOME）P3が表示される。

【0045】また、図21に示す画像Qの構成について説明する。この画面Qではクライアント1自ら部品販売業者に出貨商品を受け取る方法、又は部品販売業者からクライアント1の元へ商品を配送してもらい受取る方法の何れかを選択することができる。詳しくは、配送による受取方法を希望するアイコン（自宅へ配送（代引き））Q1と直接的な受取方法を希望するアイコン（店頭での受け取り）Q2が表示される。また、各受取方法に関する詳細な説明を示す受取方法説明欄Q3が表示される。

【0046】このように本発明の実施の形態では、部品メーカー主催のホームページ上に商品採手段となる画像D～Hと、整備工場の指定手段となる画像J～Lと、施行日申請手段となる画像N及び画像Oと、クライアントの要望に応じて適宜に表示する。このため、ユーザーは自ら各種情報を入力することにより所望の商品を注文することができる。また、その商品の受取場所、交換サービス施行場所となる整備工場を選択することができる。

【0047】〈実施形態の動作の説明〉まず、クライアント1が、部品メーカー2のホームページに対応するURLをWWWブラウザ25に入力すると、ユーザー端末24は当該URLデータに基づき通信管理用サーバ22にアクセスする。そして、通信管理用サーバ22に対し当該ホームページデータの送信を要求する。

【0048】続いて、通信管理用サーバ22は、ユーザー端末24からホームページに対応したURLデータを

受信すると、そのURLデータに基づき商品管理用サーバ4にアクセスする。そして、商品管理用サーバ4に対してホームページデータの送信を要求する。

【0049】そして、商品管理用サーバ21は、当該URLに基づくホームページデータ8の送信要求を受信すると、通信管理用サーバ22に対してホームページデータよりホームページに関するデータを送信する。

【0050】続いて、通信管理用サーバ22は、商品管理用サーバ22よりホームページに関するデータを受信すると、そのホームページに関するデータをユーザー端末24に送信する。

【0051】ユーザー端末24は、通信管理用サーバ22からホームページデータを受信すると、当該ホームページデータに含まれる画像、文章等のデータをWWWブラウザ25を介して表示装置25の画面に表示させる。図3は、このとき表示装置25の画面に表示される画像Aを示したものである。

【0052】なお、ユーザー端末24と、通信管理用サーバ22と、商品管理サーバ21と、のデータ通信は、以下の説明においてもほぼ同様になされるため、以下の説明では各サーバ22、24、並びにユーザー端末24とのデータ送受信に関する説明を簡略化する。

【0053】ここで画像Aには、部品メーカー2の作成したホームページに関し、そのトップページが表示される。詳しくは、ホームページの更新状況A1、メーカーの近況報告A2、ホームページのメニュー（内容）を示すメニュー表示部A3などが表示される。なお、メニュー表示部A3内には商品販売を行う画像（ページ）Bにリンクされたアイコン（ネットショップーBrakeTimeー）A4等がアイコンが複数表示されている。そして、ユーザー端末24は表示装置26に表示されたアイコンA4がマウスによってクリックされるのを待つ。なお、図4はメニュー表示部A3の拡大図である。

【0054】ここで、クライアントがアイコン（ネットショップーBrakeTimeー）A4をマウスでクリックすると、通信管理用データ並びに商品管理用サーバ22のホームページテーブル7を介して画像Bがユーザー端末24の表示装置26に表示される（図5参照）。

【0055】この画像Bには、ホームページの商品販売メニューに対応するメインページが表示される。また、クライアント1が商品を選択して注文できる画像（ページ）Cにリンクされたアイコン（Flash使用）B1とアイコン（Flash未使用）B2が表示される。そして、ユーザー端末24は、表示装置26に表示されたアイコン（Flash使用）B1又はアイコン（Flash未使用）B2がマウスでクリックされるのを待つ。

【0056】ここで、クライアント1が商品を選択して注文できるページCにリンクされたアイコン（Flash未使用）B2をマウスでクリックすると、ホームページテーブル7及び部品テーブル4から画像Cに対応する

画像Cデータが読み出される、そして、ユーザー端末24の表示装置26に画像Cが表示される(図6参照)。

【0057】この画像Cには、商品販売メニューに関する説明事項が表示される。詳しくは、商品の選択手順C1、お申込みの訂正方法C2、価格に関する説明C3、支払い方法C4、注意事項等C5が表示される。また、画像Cの下方には商品の注文に必要な車種データ(車名、仕様等)を入力するための画像(ページ)Dにリンクしたアイコン(次へ)C6が表示されている。そして、ユーザー端末24は、表示装置26に表示されたアイコンC6がマウス11によってクリックされるのを待つ。

【0058】ここで、クライアント1が画像Cに記載された事項を読み終えた後に、商品の注文に必要な情報を入力する画像Dにリンクされたアイコン(次へ)C6をマウスでクリックすると、ホームページテーブル7及び部品テーブル4から画像Dに対応する画像データが読み出される。そして、画像Dがユーザー端末24の表示装置26に表示される(図7参照)。

【0059】この画像Dには、商品の注文に必要な車種データとして車輛メーカーを入力できる車輛メーカー一覧表D1が表示される。詳しくは、複数の車輛メーカーに各々対応したアイコン群(TOYOTA、NISSAN等)D2が表示される。また、車輛メーカー選択欄には著名な車輛メーカーの名称のみならず、高年式車、外車等の車輛にも対応したアイコン(Vintage Car)D3も同時に表示される。そして、ユーザー端末24は、表示装置26上に表示されたアイコン群D2の何れかがマウス11によってクリックされるのを待つ。

【0060】ここで、クライアント1が例えばアイコン群D2の中からNISSANに対応したアイコン(NISSAN)D4をマウスでクリックすると、ホームページテーブル7及び部品テーブル4から画像Eに対応する画像データが読み出される。そして、画像Eがユーザー端末24の表示装置26に表示される(図8参照)。

【0061】この画像Eには、商品の注文に必要な車種データとして車名を入力することができる。詳しくは、マウスをドラッグすることによりNISSANの販売する車種の車名を選択できる車名設定枠E1が表示される。なお、ここでドラッグとは、マウスのボタンを押したままポインタを目的の位置に合わせて、マウスのボタンを離すマウス操作を意味する。また、その車名設定枠E1で指定した車種の車種仕様を選択できる画像Fにリンクしたアイコン(商品選択画面へ)E2が表示される。そして、ユーザー端末24は、表示装置26に表示された車名選択枠E1のドラッグ、及びアイコンE2がクリックされるのを待つ。

【0062】ここで、クライアント1が例えば車名設定枠E1のセドリック・グロリアという車名E3をドラッグした後に、その指定された車種の車種仕様を選択でき

る画像Fにリンクしたアイコン(商品選択画面へ)E2をクリックすると、ホームページテーブル7及び部品テーブル4から画像Fに対応する画像データが読み出される。そして、画像Fがユーザー端末24の表示装置26に表示される(図9参照)。

【0063】この画像Fには、商品の注文に必要な車種データとして前記画像Eで指定した車名に加え、当該車種の車種仕様を入力することができる。詳しくは、前記画像Eで指定された車名に基づき、その車種を排気量、型式、グレード/装備、年式で分類した車種仕様一覧表F1が表示され、そして、クライアント1はその車種仕様一覧から当該車種の車種仕様を選択する。また、各車種仕様ごとにその車種に装着可能な商品(ブレーキパッド)を選択できる画像(ページ)Dにリンクしたアイコン(選択)F2が付されている。そして、ユーザー端末24は、表示装置26に表示されたアイコンF2がクリックされるのを待つ。

【0064】ここで、クライアント1が例えば排気量2000cc、型式WY30、VY30、VNY30、年式58、6~の車種仕様に対応したアイコンF3(F2)をクリックすると、ホームページ及び部品テーブル4から画像Gに対応する画像データが読み出される。そして、画像Gがユーザー端末24の表示装置26に表示される(図10参照)。

【0065】この画像Gには、前記画像E、Fで入力された車種データ(車名、車種仕様)に基づき、その車種に装着可能な商品(ブレーキパッド)をタイプ別に示す商品一覧表G1が表示される。また、各商品にはその性能を表示する画像Hにリンクしたアイコン(説明)G2が付されるとともに、商品を指定するためのアイコン(□)G3が付されている。また、画面右下には商品の取付方法を選択できる画像Iにリンクしたアイコン(次へ)G4が表示される。そして、ユーザー端末24は、表示装置26上に表示されたアイコンG2又はアイコンG3→G4の順にクリックされるのを待つ。

【0066】ここで、クライアント1が各商品に付されたアイコン(□)G3をマウスでクリックして商品を指定した後に、商品の取付方法を選択できる画像Iにリンクしたアイコン(次へ)G4をマウスでクリックすると、ホームページ及び部品テーブル4から画像Iに対応する画像データが読み出される。そして、画像Iがユーザー端末24の表示装置26に表示される(図11参照)。

【0067】なお、クライアント1が前記画像Gにおいて、例えばタイプ名:スポーツG・TYPEの商品(ブレーキパッド)に付されたアイコン(説明)G2をクリックすると、その商品の性能グラフを示す画像Hがユーザー端末24の表示装置26に表示される(図12参照)。この画像Hに対応するデータは部品テーブルから読み出される。そして、その商品の特性を示した説明文

H1、及び性能グラフH2がユーザー端末の表示装置26に表示される。このため、クライアント1は商品の性能を十分把握して商品（プレーキパッド）を選択することができる。

【0068】前記画像Gのアイコン（次へ）G4でリンクされた商品の取付方法を選択できる画像Iでは、商品の注文に必要な情報として、商品の受取方法を入力することができる。詳しくは、商品の受取り時に交換サービスを希望するためのアイコン（交換サービス付き（有料））I1と、商品の受取りのみを希望するアイコン（商品のみ購入）I2と、が設けられた受取方法選択欄I3が表示される。なお、受取方法選択欄I3でのアイコンI1、I2の選択はマウスのドラッグ操作にて行う。

【0069】ここで、アイコン（交換サービス付き（有料））I1は、交換サービスの施行場所を選択できる画像Jにリンクされている。また、アイコン（商品のみ購入）I3は、商品の受取場所のみを選択できる画像Kにリンクされている。そして、ユーザー端末24は、表示装置26に表示されたアイコンI1又はアイコンI2のドラッグを待つとともに、アイコンI4がクリックされるのを待つ。

【0070】ここで、クライアント1が例えばアイコン（交換サービス付き（有料））I1をマウスでドラッグし、続いてアイコンI4をクリックすると、ホームページ及び整備工場テーブル5から画像Jに対応する画像データが読み出される。そして、画像Jがユーザー端末24の表示装置26に表示される（図13参照）。

【0071】この画像Jでは、商品の受取りに必要な情報として、商品の受取場所を選択して入力することができる。詳しくは、商品を受けることができる都道府県一覧J1が表示され、その各々に対して神奈川、東京、福岡、大坂等の名称に対応したアイコンJ2が付されている。なお、アイコンJ2は各都道府県の名称に加えて地域、地方名を入力できる画像Kにリンクされている。そして、ユーザー端末24は、表示装置26に表示されたアイコンJ2の何れかがクリックされるのを待つ。

【0072】ここで、クライアント1が例えば福岡に対応するアイコン（福岡）J3（J2）をマウスでクリックすると、ホームページ及び整備工場テーブル5から画像Kに対応する画像データが読み出される。そして、画像Kがユーザー端末24の表示装置26に表示される（図14参照）。

【0073】この画像Kでは、商品の受取りに必要な情報として、前記画像Jで選択された都道府県名に加えて地域、地方名を入力することができる。詳しくは、前記画像Jにて指定された都道府県内の地方、地域名の一覧K1が表示される。そして、その各々の地域、地方名に対応してアイコン（福岡、北九州、筑後等）K2が付される。なお、アイコンK2は、その地域、地方内に所在地

を有する整備工場の選択ができる画像Lにリンクされている。そして、ユーザー端末24は、表示装置26に表示されたアイコンK2の何れかがクリックされるのを待つ。

【0074】ここで、クライアント1が例えばアイコンK2の中から福岡地方に対応するアイコンK3をクリックすると、ホームページ及び整備工場テーブル5から画像Lに対応する画像データが読み出される。そして、画像Lがユーザー端末24の表示装置26に表示される（図14参照）。

【0075】この画像Lでは、商品の受取りに必要な情報として、前記画像Kで指定された地域、地方名に加えて、その地域・地方内の整備工場を選択することができる。詳しくは、幾つかの整備工場名、及びその住所、電話番号、営業時間、定休日を示す整備工場一覧L1が表示される。また、各整備工場には最寄りの地図を示す画像Mにリンクしたアイコン（MAP）L2が付されるとともに、商品の交換サービスを希望する日程を指定する画像Mにリンクされたアイコン（選択）L3が表示される。

【0076】そして、ユーザー端末24は、表示装置26に表示されたアイコンL2又はL3がクリックされるのを待つ。なお、図16では整備工場一覧L1に対して整備工場が一つのみ表示されているが、これは商品管理サーバの整備工場テーブル6に登録された整備工場データの中に、福岡県福岡地方に該当する整備工場のデータが一つであったためである。

【0077】そして、クライアント1が例えば、その整備工場に付されたアイコン（選択）L3をクリックすると、ホームページ及び整備工場テーブル5から画像Nに対応する画像データが読み出される。そして、画像Nがユーザー端末24の表示装置26に表示される（図16参照）。

【0078】なお画像Lにおいて、クライアント1が各整備工場に付されたアイコン（MAP）L2をマウスでクリックすると、通信管理用サーバ22並びに商品管理用サーバ22を介して、その選択された整備工場の所在地を示す地図が画像Mとして、ユーザー端末24の表示装置26に表示される（図17参照）。

【0079】この前記画像Nでは、商品の受取りに必要な情報として、交換サービスの実施日を入力することができる。詳しくは、予め定められた期間内において第1希望日～第3希望日までを指定できるカレンダーN1が表示される。また、このカレンダーN1の各日ごとに希望日指定用のアイコン（○）N2が表示される。そして、カレンダーの下方にはアイコン（○）N2で指定した希望日の設定用アイコン（希望日1、希望日2、希望日3）N3が表示される。

【0080】更に、カレンダーN1の右方には前記アイコンN2、N3によって指定された日程を表示する表示

欄N4が設けられるとともに、その各々には希望日の設定を取り消すためのアイコン(リ)N5が付されている。また画像右下にはこれまで入力してきた各種情報を確認できる画像Oにリンクしたアイコン(次へ)N6が表示されている。そして、ユーザー端末24は、表示装置26に表示されたアイコンN2、アイコンN3、アイコンN6がクリックされるのを待つ。

【0081】ここで、例えば11月30日を希望日1に設定するには、まず、カレンダーN1内の11月30日に対応するアイコン(O)N2をマウスでクリックした後、カレンダー下方の設定用アイコン(希望日1)N3をマウスでクリックすると第1希望日として11月30日が設定される。なお、希望日2、希望日3もこれと同じ方法にて入力できる。

【0082】このとき、表示欄N4には、入力された各希望日に対応する日にちが表示される。そして、クライアント1が表示欄N4にて希望日を確認し、画像右下のアイコン(次へ)N6をクリックすると、ホームページ及び整備工場テーブル5から画像Oに対応する画像データが読み出される。そして、画像Oがユーザー端末24の表示装置26に表示される(図18参照)。

【0083】この画像Oには、これまで入力された各種情報の一覧O1が表示されるとともに、クライアント1の個人情報を入力する申込み欄O2が設けられる。なお、この申込み欄O2にはクライアント1の個人情報として、お名前、住所、電話番号、メールアドレス、質問等に関する個人情報をキーボードにて入力する。

【0084】また、この申込み欄O2の下方には商品の注文に至るいきさつなどをマウス又はキーボードにて入力可能なアンケート欄O3が設けられている。また、画像Oの最下方には申込みを確定するとともに、申込者となるクライアント1に受注番号を知らせる画像Pにリンクしたアイコン(申込み)O4が表示される。なお、図19に申込み欄O2の拡大図を示す。そして、ユーザー端末24は、表示装置26に表示された申込み欄O2のキーボードによる入力、及びアイコン(申し込み)O4がマウス11によってクリックされるのを待つ。

【0085】ここで、クライアント1が申込み欄O2に名前、住所、電話番号、メールアドレス等を入力して画像最下方のアイコン(申し込み)O4をクリックすると、ホームページ及び整備工場テーブル5から画像Pに対応する画像データが読み出される。そして、画像Pがユーザー端末24の表示装置26に表示される(図20参照)。

【0086】この画像Pには、注文の受認をクライアント1に知らせるメッセージP1が表示されるとともに、その注文に対応する受付番号P2が表示される。また、ホームページのトップページとなる画像Aにリンクされたアイコン(HOME)P3が表示される。このようにユーザーは自ら各種情報を入力することにより所望の商

品を注文することができる。また、その商品の受取場所、交換サービス施行場所となる整備工場を選択することができる。

【0087】なお、部品メーカー2はクライアント1による商品の注文が完了した後に、その入力された情報に基づき商品の手配を行う。具体的には、クライアント1が指定した整備工場と取引のある自動車部品販売店(自社製品取扱店)に商品の在庫確認を行うとともに、商品の在庫がある場合には当該整備工場へその商品の送付を指示する。また、在庫が切れている場合には、部品メーカー2が新たに商品を製造して自動車部品販売店に補充する。また、クライアント1の指定した整備工場に対して、クライアント1の希望する交換サービス実施日を通知して、整備工場がその交換サービスを実施できるかどうかを確認する。

【0088】この商品受注等は、部品メーカー2と自動車部品販売店と整備工場との間に設けられる既存のLAN(ローカル・エリア・ネットワーク)などを利用する。また、インターネット100を介して行ってもよい。

【0089】そして、部品メーカー2は整備工場の確認を受けた後に、クライアント1に対して交換サービスの最終的な実施日を表示した返信メールをユーザー端末24に送付する。そして、部品メーカー2から返信メールを受けたクライアント1は、その交換サービス実施日に、自ら指定した整備工場に出向いて商品の購入、及び交換サービスを受ける。そして、交換サービス実施後に、その整備工場に対して商品代金及び交換サービスに伴う工賃を支払う。そして、整備工場は部品販売業者との決裁を行い、部品販売業者は部品メーカー2との決裁を行う。

【0090】なお、商品受取り時の交換サービスの有無を確認する前記画像Iにおいて、クライアント1が交換サービスを希望しない場合には、アイコン(商品のみ購入)I2をクリックする。この場合、商品管理用サーバ22は整備工場テーブル6に代わり部品販売テーブル5を介してユーザー端末24との送受信を行う。

【0091】まず、アイコン(商品のみ購入)I2のクリックに伴い、ユーザー端末24の表示装置26にはホームページテーブル7及び部品販売テーブル5から、より詳細な受取方法を確認する画像Qに対応した画像データが読み出される。そして、画像Qがユーザー端末24の表示装置26に表示される(図21参照)。

【0092】この画像Qでは、クライアント1自ら部品販売業者に出向き商品を直接受取する方法、又は部品販売業者からクライアント1の元へ商品を配送してもらい受取する方法の何れかを選択することができる。詳しくは、配送による受取方法を希望するアイコン(自宅へ配送(代引き))Q1と直接的な受取方法を希望するアイコン(店頭での受け取り)Q2が表示される。また、各受

取方法に関する詳細な説明を示す受取方法説明欄Q3が表示される。

【0093】ここで、アイコン（自宅へ配送（代引き））Q1がクリックされた場合には前述の画像Oにリンクされる（図18参照）。そして、クライアント1が申込み欄O2に名前、住所、電話番号、メールアドレス等を入力して画像最下方のアイコン（申込み）O4をクリックすると、前述同様にホームページ及び部品販売テーブルから画像Oに対応する画像データが読み出される。そして、画像Oがユーザー端末24の表示装置26に表示される（図18参照）。

【0094】そして、画像Pにおいて、注文の受認をクライアント1に知らせるメッセージP1が表示されるとともに、その注文に対応する受付番号P2が表示される。そして、後日、部品販売業者より、前記画像Oにおいてクライアント1が入力した申込み欄O2の住所宛に商品が配達される。なお、商品の配送にあたって、その商品の代金と引き替えに商品が配送される。このようにクライアント1は、自宅にいながら所望の商品を購入することができる。

【0095】また、前記画像Qにおいて、アイコン（店頭での受取り）Q2がクリックされた場合には前述の画像Jにリンクされる（図13参照）。そして、前述した整備工場の指定方法と同様に画像J→画像K→画像L→画像O→画像Pの順に受取場所となる部品販売業者を特定する。なお、部品販売テーブル5を介してユーザー端末24に送られてくる各画像では、前記画像J～Lの整備工場に関するデータが部品販売業者のデータに置換されている。例えば、前記画像Lにおいて表示される整備工場一覧はL1は自動車部品販売店一覧に置換される。このように、クライアント1は自ら指定した自動車部品販売店にて商品を受け取ることができる。

【0096】また、前記商品管理用サーバ22の整備工場テーブル6及び部品販売テーブル5に登録されたデータには、必要に応じて新規に整備工場及び部品販売業者を追加することもできる。例えば、クライアント1が希望する整備工場や部品販売業者の追加、または、整備工場及び部品販売業者自らの登録依頼による追加などがあげられる。

【0097】この場合、前記画像Lにおいて、クライアント1又は整備工場自らが前記画像Lの整備工場一覧L1にキーボード等を用いて整備工場データを入力する。ここで入力する整備工場データとしては、工場名、住所、電話番号等があげられる。

【0098】そして、部品メーカー2はその入力された整備工場に対して、加盟申請書を送付するとともに、陸運局事務所の指定・認定の有無を確認する。ここでもし、その入力された整備工場が陸運局事務所の認可を得ていない場合には、部品メーカー2はその整備工場の新規登録を断る。また、入力された整備工場がクライアン

ト1による登録である場合には、ユーザー端末24に対して、その整備工場では商品の交換サービスを受けることができないことを告げるとともに、商品管理用サーバ22の整備工場テーブルに登録された登録済み整備工場の中から代替整備工場を紹介する内容の返信メールを送信する。

【0099】なお、クライアント1または整備工場自ら入力した整備工場が陸運局事務所の認可を得ている場合には、商品管理用サーバ22のデータベースに登録されるとともにその整備工場に対して部品メーカー2が販売する商品の一覧表を送付する。このように、本実施の形態では、会員登録手段及び希望業者・工場登録手段とし画像Lを設け、クライアント1の希望する整備工場での交換サービスを可能にするとともに、新規整備工場の追加も行える。このため、クライアント1に対するサービス向上が図れるとともに、より多くの整備工場を取り込む販売サービス網を得ることができる。

【0100】ここで、前述した自動車部品販売システムに関し、クライアント1が商品を選択する過程（商品択一過程）を説明するフローチャートを図22に示すとともに、商品受注後にクライアント1が商品を手にする迄の商品受取り過程を説明するフローチャートを図23に示す。以下、図22、23のフローチャートに基づき各過程を説明する。

【0101】〈商品択一過程の説明〉まず、図22を参照して商品択一過程の動作を説明する。はじめに、部品メーカー2がクライアント1に対して車輛メーカー一覧表を提示する（ステップ100）。そして、クライアント1はその提示された車輛メーカー一覧表の中から所望の車種に対応した車輛メーカーを選択する（ステップ101）。

【0102】そして、クライアント1による車輛メーカーの特定がなされると、部品メーカー2はその車両メーカーの製造する車輛に対応した車名一覧表をクライアント1に提示する（ステップ102）。そして、クライアント1はその提示された車名一覧表の中から所望の車種に対応した車名を選択する（ステップ103）。

【0103】続いて、クライアント1による車名の特定がなされると、部品メーカー2はその車名に対応した仕様（排気量、型式、年式等）を表示した車種仕様一覧表をクライアント1に提示する（ステップ104）。そして、クライアント1はその提示された車種仕様一覧表の中から所望の車種に対応した車種仕様を選択する（ステップ105）。

【0104】続いて、クライアント1による車種仕様の特定がなされると、部品メーカー2はその車種に装着可能な商品（ブレーキパッド）択一一覧表をクライアント1に提示する（ステップ106）。そして、クライアント1はその提示された商品択一一覧表の中から所望の車種に装着する商品を選択する（ステップ107）。そし

て、部品メーカー2はクライアント1の要望に応じた商品(ブレーキパッド)を確実に提供することができる(ステップ108)。

【0105】なお、前記車輛メーカーを選択するステップ101において、クライアント1が、車輛メーカー一覧表の中から車輛メーカーを特定できなかった場合(ステップ201)には、クライアント1が前記車輛一覧表をプリントアウトする(ステップ202)。そして、その車輛一覧表と所望の車種の自動車検査証とを照らし合わせて(ステップ207)、再度を車輛メーカー一覧表の中から車輛メーカーを特定する(ステップ100)。

【0106】また、前記車名を選択するステップ103において、クライアント1が、車名一覧表の中から車名を特定できなかった場合(ステップ203)には、クライアント1が前記車名一覧表をプリントアウトする(ステップ204)。そして、その車名一覧表と所望の車種の自動車検査証とを照らし合わせ(ステップ207)、再度、ステップ100~103を経て車名一覧表の中から車名を特定する。

【0107】また、前記車種仕様を選択するステップ105において、クライアント1が、車種仕様一覧表の中から車種仕様を特定できなかった場合(ステップ205)には、クライアント1が前記車種仕様一覧表をプリントアウトする(ステップ206)。そして、その車種仕様一覧表と所望の車種の自動車検査証とを照らし合わせ(ステップ207)、再度、ステップ100~105を経て車種仕様一覧表の中から車種仕様を特定する。

【0108】なお、部品メーカー2から提示される各一覧表と所望の車種の自動車検査証とを照らし合わせるステップ207において、所望の車種が各一覧表に該当しない場合(ステップ208)には、部品メーカー2がクライアント1に対して旧型車輛一覧表を提示する(ステップ209)。そして、クライアント1はその提示された旧型車輛一覧表の中から所望の車種に対応する車種を選択する(ステップ210)。

【0109】そして、クライアント1による車種の特定がなされると、その車種に装着可能な商品振一一覧表をクライアント1に提示する(ステップ106)。そして、クライアント1はその提示された商品振一一覧表の中から所望の車種に装着する商品を選択する(ステップ107)。そして、部品メーカー2側はクライアント1の要望する商品を確実に提供することができる(ステップ108)。

【0110】なお、前記ステップ210において、クライアント1の所望する車種が旧型車輛一覧表の中に示されていない場合には、部品メーカー2がオーダーメイド商品一覧表をクライアント1に提示する(ステップ211)。そして、クライアント1はその提示されたオーダーメイド商品一覧表の中から所望の車種に装着可能なオーダーメイド商品を選択する(ステップ212)。そし

て、部品メーカー2側はクライアント1に要望に応じた商品を製造し、クライアント1へ確実に提供することができる(ステップ213)。

【0111】このように、クライアント1に対して車輛メーカー一覧表、車名一覧表、車種仕様一覧表、商品一覧表等を提示することで、クライアント1の所望する車種に装着可能な商品をクライアント1の意志に基づいて紹介することができる。よって、クライアント1には自ら選択したという消費者心理が働き商品に対するクライアント1の定着を図れ、クライアント1に対して商品の販売促進を促すことができる。

【0112】続いて、図23のフローチャートに基づき、クライアント1が商品を手にする迄の過程(商品受取り過程)を説明する。

【0113】〈商品受取り過程の動作〉前述の商品振一過程において、部品メーカー2がクライアント1より商品の注文を受けた場合、まず、クライアント1により選択された商品に対応する商品マスターコードを部品テーブルから読み出す(ステップ301)。なお、商品マスターコードには商品の製造番号、型式等が示されている。

【0114】続いて、その受注された商品に対応する商品マスターコードに基づき希望施工日通知手段を介して各都道府県並びにその地方・地域等に所在する部品販売業者に当該商品の在庫確認を行う(ステップ302)。なお、部品販売業者に商品の在庫がない場合には、部品業者が通知手段を介して部品の補充を要求する。そして、部品メーカー2は通知手段を介して要求された補充要請に応じ、新たに商品の製造を行う(ステップ303)。そして、部品販売業者に製造した商品を出荷する(ステップ304)。

【0115】このように、部品メーカー2が部品販売業者に対して在庫を確認又は補充を行う。そして、部品メーカー2はクライアント1に対して商品の受取可能な地域を示す受取り場所一覧表を提示する(ステップ305)。そして、クライアント1はその提示された受取り場所一覧表の中から所望の受取り場所を選択する(ステップ306)。

【0116】そして、クライアント1による受取り場所の特定がなされると、部品メーカー2はクライアント1に対して、商品受取り時の交換サービスの有無を確認する(ステップ307)。そして、クライアント1が交換サービスの施工を希望すると部品メーカー2はクライアント1に対して交換サービスの施工可能な整備工場を示す整備工場一覧表を提示する(ステップ307)。

【0117】そして、クライアント1による整備工場の特定がなされると、部品メーカー2は部品販売業者に対して当該整備工場への商品送付を要求し、部品販売業者から整備工場に対して商品が送付される(ステップ308)。そして、クライアント1は自ら選択した商品を、

自ら選択した整備工場で受け取るとともに、その商品の交換サービスを受ける。そして、商品の代金及び交換サービスに伴う工賃を整備工場に対して支払う（ステップ309）。

【0118】なお、商品受取り時の交換サービスの有無を確認するステップ307において、クライアント1が交換サービスを希望しなかった場合には、部品販売業者からクライアント1に対して直接商品を送付する（ステップ310）。そして、クライアント1は部品販売業者に対して商品の代金を支払う（ステップ311）。なお、ここでクライアント1自らが自動車販売業者に出向き商品を直接受取っても良い。

【0119】このように、本発明の自動車部品販売システムでは、既存の自動車部品業界の流通経路を利用してクライアント1に対する商品の受け渡しが行われる。また、商品の受け渡しに関わる金銭の受け渡しも、既存の自動車部品業界の流通経路を利用して行われる。このため、インターネット100を介した商品取引にありがちな電子決済を回避することができる。

【0120】なお、本発明の自動車商品販売システムでは、商品の受渡し時に交換サービスを施工可能な整備工場を紹介することにとどまらず、商品管理用サーバ22に記録された各種情報を有効利用してクライアント1のアフターサービスを行うこともできる。以下、このクライアント1に対する部品メーカー2のアフターサービスを説明する。

【0121】まず、商品管理用サーバ22に、前記各テーブル5、6、7とは別にクライアント1の個人情報を記録する会員テーブル8を設ける。ここで、この会員テーブル8に記録されるクライアント1の個人情報はとしては、前記ホームページでクライアント1自らが登録した各種データに加え、車輛購入時期、車輛購入場所、車輛有効車検期限、整備履歴、整備を実施した整備工場等のデータ等があげられる。なお、会員テーブル8にクライアント1の個人情報を登録するにあたっては、クライアント1の要望に応じた登録、または部品製造業社自らの判断による登録のどちらであってもよい。

【0122】そして、部品メーカー2は会員テーブル8に登録されたデータと、前記各テーブル5、6、7に登録されたデータとを照らし合わせて、インターネット100等の情報伝達手段を介してクライアント1側に各種アフターサービスを提供する。

【0123】ここで、部品メーカー2がクライアント1に提供するアフターサービスとしては、例えば、クライアント1の所有車輛に故障が生じた場合など、クライアント1の要求に応じてクライアント1の車輛を担当する整備工場を会員テーブル8、及び整備工場テーブル6を介してクライアント端末24の表示装置26に表示するサービスである。ここでクライアント1の車輛を担当する整備工場は、前記画像1にてクライアント1が選択し

た整備工場及びクライアント1自らが登録した整備工場をあげることができる。

【0124】また、クライアント1の車輛に装備される消耗部品（ブレーキパッド、タイヤ等）の交換時期を会員テーブル8に記録されたクライアント1の車輛データより算出し、その交換時期をユーザー端末24の表示装置26に表示するサービスなどがあげられる。なお、クライアント1にこれらのサービスを提供するに際して、当該クライアントが再びホームページにアクセスした時、または、クライアント1端末24に対して部品メーカー2の端末コンピュータより電子メールを送信して、クライアント1が電子メールを返信してもよい。

【0125】なお、ここで消耗部品の交換時期を算出するにあたってはクライアント1の所有する車輛の購入時期、整備履歴等から判断するとよい。この場合、商品管理用サーバ22内に交換時期の算出手段を設け定期的且つ自動的に交換時期の算出が行われるようにしてもよい。

【0126】このように、本発明の自動車部品販売システムでは、クライアント1の要望に応じて、商品管理用サーバ22の各テーブル5、6、7、8から必要に応じた情報をクライアント側に提示することができる。よって、部品メーカー2はクライアント1に対して商品を販売することにとどまらず、商品の交換サービスを含む総合的なサービスをクライアント1に提供することができる。

【0127】また、クライアント1に紹介する整備工場は部品メーカー2自らが選択した信頼のある整備工場であるため、クライアント1は安心して商品の交換サービスを受けることができる。

【0128】また、商品管理用サーバ22に設けられる会員テーブル8を介してクライアント1に対するサービスの充実をはかることができる。

【0129】

【発明の効果】本発明によれば、クライアント側から、ネットワークを通じて、必要な部品を簡単に注文でき、しかも、その入手場所、取付け工場等を容易に確保できるので、ユーザー側の部品の入手の容易性、装着のための整備工場の確保の容易性を確保することができる。ユーザーにとっての利便性が高い。特に、商品管理用サーバの各テーブルに記録された商品択一手段、整備工場指定手段、施工日申請手段などの各種手段などをユーザーの所望に応じて適宜に提示することは、これをより容易にする。

【0130】また、ユーザーの所望する部品をユーザー自らの意志に基づいて紹介することができるため、ユーザーには自ら選択した商品という消費者心理が働き、部品メーカーはユーザーに対して部品の購買意欲の促進等販売促進活動を容易に行うことができる。

【0131】また、本発明では、既存の自動車部品業界

の流通経路を利用してユーザーに対する部品の受け渡しを行うとともに、商品の代金に関わる決済処理も、既存の自動車部品業界の商流経路を利用して行われるため、インターネット等の情報伝達手段を介しての商品取引にありがちな電子決済を回避することができる。

【0132】また、本発明ではユーザー、整備工場、部品販売業者の要望に応じて登録可能な会員テーブルを設けているため、部品メーカーはその会員テーブルに登録された会員に対して一定の情報提供サービスを行うことができる。また、部品販売業者や整備工場に対して積極的に参加できる部品販売網を提供することができ、既存の流通経路以外の部品販売業者や整備工場も部品メーカーのグループに参加を集うことができ、新たな流通経路確保を行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態に係るシステムの概略を示す図。

【図2】本発明の実施の形態に係るシステム構成の一例を示すシステム図。

【図3】本発明の実施の形態に係るホームページの画像Aを示す図。

【図4】本発明の実施の形態に係る画像Aの一部拡大図。

【図5】本発明の実施の形態に係るホームページ画像Bを示す図。

【図6】本発明の実施の形態に係るホームページ画像Cを示す図。

【図7】本発明の実施の形態に係るホームページ画像Dを示す図。

【図8】本発明の実施の形態に係るホームページ画像Eを示す図。

【図9】本発明の実施の形態に係るホームページ画像Fを示す図。

【図10】本発明の実施の形態に係るホームページ画像Gを示す図。

【図11】本発明の実施の形態に係るホームページ画像Iを示す図。

【図12】本発明の実施の形態に係るホームページ画像Hを示す図。

【図13】本発明の実施の形態に係るホームページ画像Jを示す図。

【図14】本発明の実施の形態に係るホームページ画像Kを示す図。

【図15】本発明の実施の形態に係るホームページ画像Lを示す図。

【図16】本発明の実施の形態に係るホームページ画像Nを示す図。

【図17】本発明の実施の形態に係るホームページ画像Mを示す図。

【図18】本発明の実施の形態に係るホームページ画像Oを示す図。

【図19】本発明の実施の形態に係るホームページ画像Oの一部拡大図。

【図20】本発明の実施の形態に係るホームページ画像Pを示す図。

【図21】本発明の実施の形態に係るホームページ画像Qを示す図。

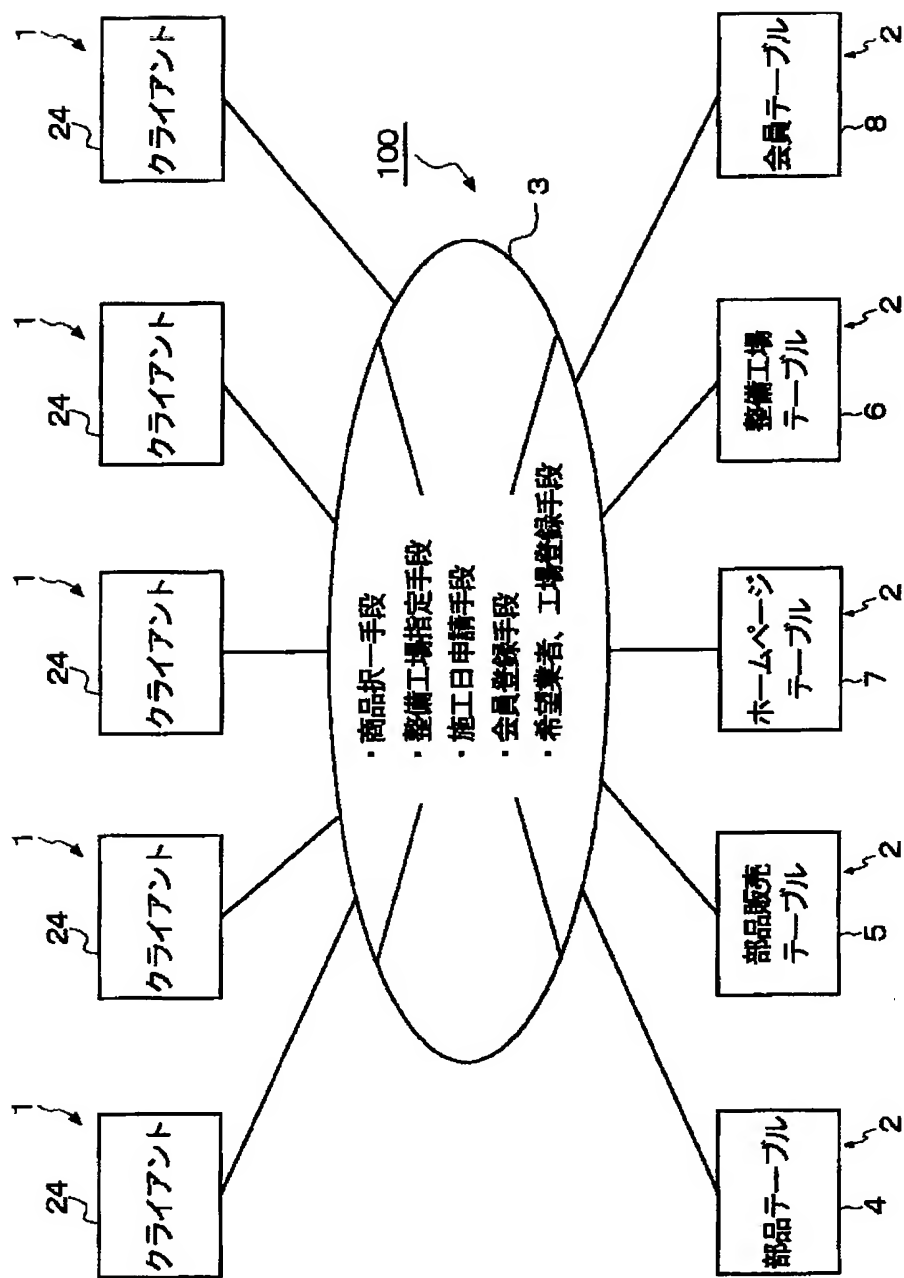
【図22】本発明の実施の形態に係る商品選択過程を示すフローチャート図。

【図23】本発明の実施の形態に係る受取り過程を示すフローチャート図。

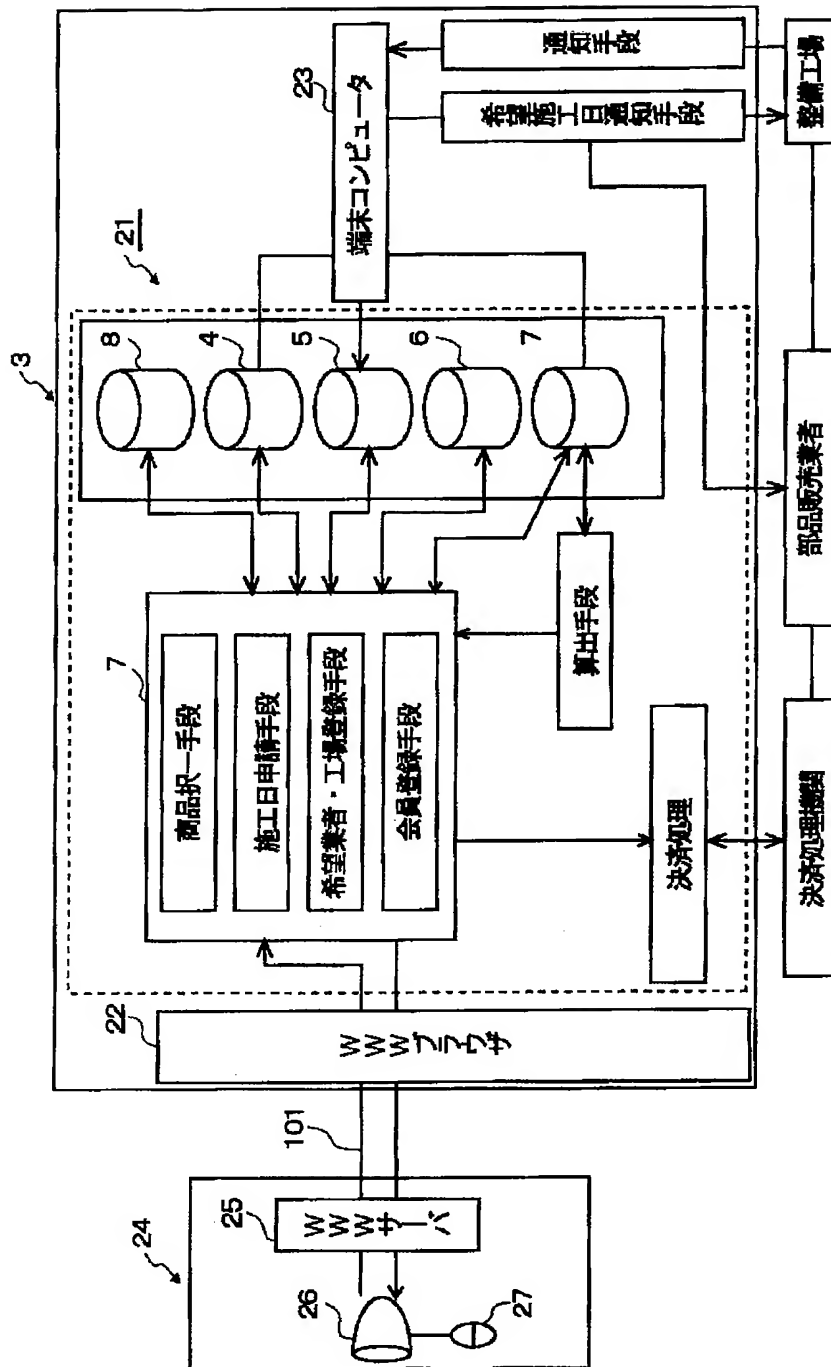
【符号の説明】

- 1 クライアント
- 2 部品メーカー
- 3 商品情報提供
- 4 部品テーブル
- 5 部品販売テーブル
- 6 整備工場テーブル
- 7 ホームページテーブル
- 8 会員テーブル
- 21 商品管理用サーバ
- 22 通信管理用サーバ
- 24 ユーザー端末
- 25 表示装置
- 26 表示装置
- 27 入力装置
- 100 インターネット
- 101 電話回線

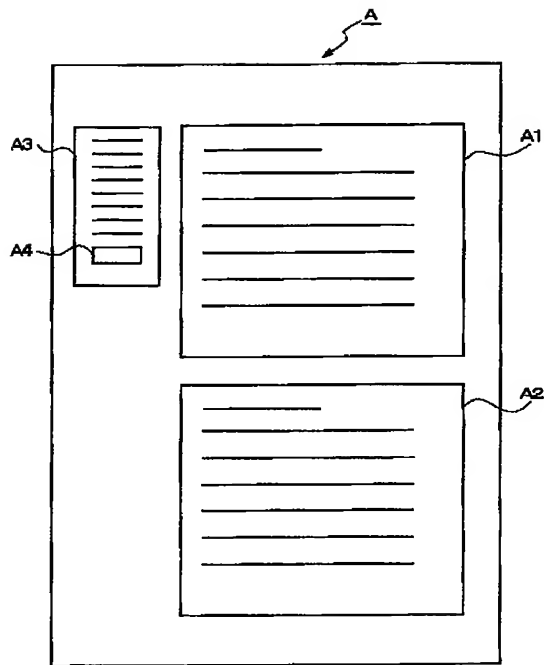
【図1】



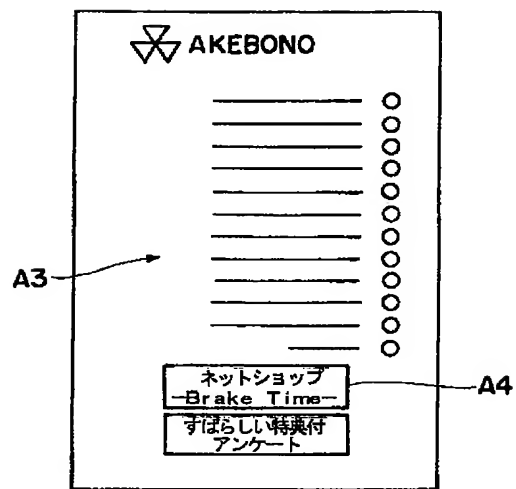
【図2】



【図3】

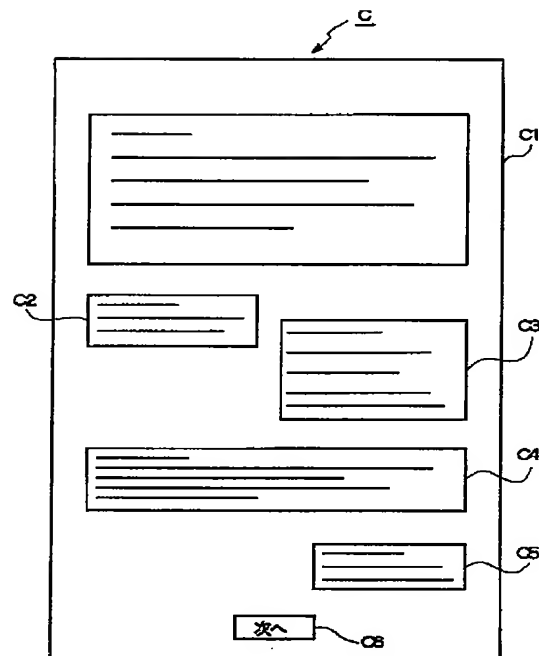
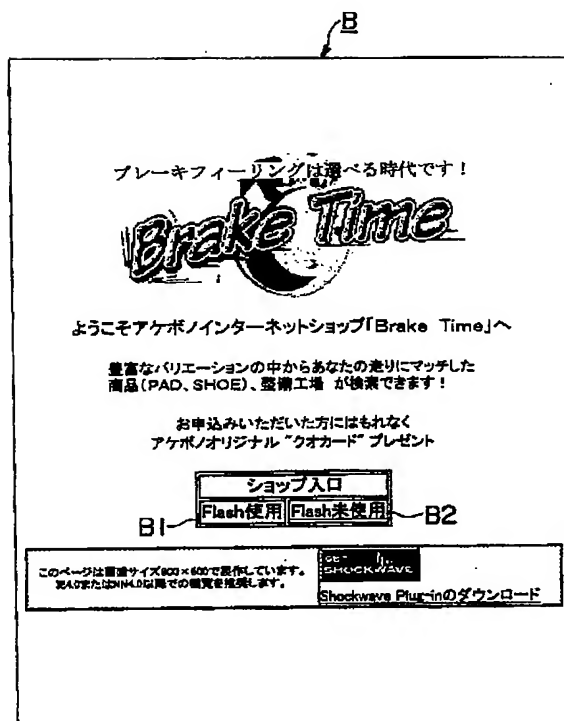


【図4】



【図6】

【図5】



【図7】

D

手 順	メーカー 選択	車種 選択	排気量・駆動 方式選択	PAD タイプ選択	交換 サービス付 向きのみ 購入	乗客工場 選択	乗付希望日 入力	申 込
--------	------------	----------	----------------	--------------	---------------------------	------------	-------------	--------

メーカーを選択してください。

D4

TOYOTA

NISSAN

MITSUBISHI

MAZDA

HONDA

ISUZU

SUBARU

DAIHATSU

SUZUKI

Vintage Car

D1

D2

D3

【図17】

M

—○○方面		四辺○号線		レストラン
—○○方面		●△△自動車		
●△△家	●△△名	□△△		
▽▽家	●○○家			
▲▲安全 モーター 本社□□□□				

【図18】

O

O1

O2

O3

O4

申し込み

【図19】

O2

お名前	
住所(都市)	北九州市門司区
住所 (都市以下を入力して下さい)	
電話番号(半角)	
メールアドレス	
その他 (不明な点、質問、ご意見等)	

【図8】

E

手順 →	メーカー 選択	車種 選択	排気量・型式・ 年式選択	PAD タイプ選択	交換 サービス付	整備工場 選択	取付希望日 入力	申込
					商品のみ 購入	自宅へ配送		
						店舗受取	店舗選択	

メーカー : ニッサン

車種を選択して下さい

E3

セドリック・グロリア

○○○○

△△△△

××××

□□□□

⋮

E1

E2

店舗選択画面へ

【図20】

P

ご注文ありがとうございました P1

---

お客様の受付番号は 000017 です。

P2

お便り・ご質問は: [info@akabono-brake.co.jp](mailto:info@akabono-brake.co.jp)までお願いします。

[HOME](#)

【図9】

F

手順 →	メーカー 選択	車種 選択	排気量・型式・ 年式選択	PAD タイプ選択	交換 サービス付	整備工場 選択	取付希望日 入力	申込
					商品のみ 購入	自宅へ配送		
						店舗受取	店舗選択	

メーカー: ニッサン

車種: セドリック・グロリア

33件の該当がありました。

車種	排 気 量	型 式	グレード/装備	年式	
セドリック・グロリア	2000	WY30 VY30 VNY30		58. 6~	選択
セドリック・グロリア	2000	Y31 TY31 CY31	ABSなし	62. 6~	選択
セドリック・グロリア	2000	Y31 TY31 CY31	ABS付	62. 6~	選択
セドリック・グロリア	2000	NJY31 TNJY31	Fドラム	62. 6~H3. 6	選択
セドリック・グロリア	2000	NJY31 TNJY31	Fディスク	62. 6~H3. 6	選択
セドリック・グロリア	2000	MJY31 CMJY31		62. 6~	選択
セドリック・グロリア	2000	QJY31		H3. 6~	選択
セドリック・グロリア	2000	CY31 YY31	ABSなし	H3. 6~	選択
セドリック・グロリア	2000	CY31 YY31	ABS付	H3. 6~	選択
セドリック・グロリア	2000	Y32	ABSなし	H3. 6~	選択
セドリック・グロリア	2000	Y32	ABS付	H3. 6~	選択
セドリック・グロリア	2500	MY33 ENY33		H9. 6~	選択
セドリック・グロリア	2800	UY31 CUY31	ABSなし	62. 6~	選択
セドリック・グロリア	2800	UY31 CUY31	ABS付	62. 6~	選択
セドリック・グロリア	2800	UJY31 TUJY31	Fドラム	62. 6~	選択
セドリック・グロリア	2800	UJY31 TUJY31	Fディスク	62. 6~	選択
セドリック・グロリア	2800	UY32		H3. 6~	選択
セドリック・グロリア	2800	UY33		H7. 6~	選択
セドリック・グロリア	3000	PAY31	プロアム	62. 6~H3. 6	選択
セドリック・グロリア	3000	PAY31	プロアムVIP	62. 6~H3. 6	選択
セドリック・グロリア	3000	PAY31	ターボ	62. 6~H3. 6	選択

F1

F3

F2

【図10】

G

手 順 →	メーカー 選択	車種 選択	排気量・型式・ 年式選択	PAD タイプ選択	交換	整備工場	取付希望日	申 込
					サービス付	選択	入力	
					商品のみ 購入	自宅へ配送		
						店舗受取	店舗選択	

メーカー: ニッサン 車種: セドリック・グロリア 排気量: 3000 型式: HBY33  
 年式: H7. 8 ~

ご希望のタイプのPADを選択してください

取付位置	タイプ	特徴	価格	選択
G1 フロント	オリジナル	説明	9500	<input type="checkbox"/>
	スポーツG TYPE	説明	15000	<input checked="" type="checkbox"/>
	スポーツG2 TYPE	説明	18000	<input type="checkbox"/>
	スポーツR TYPE	説明	21000	<input type="checkbox"/>
	HQP	説明	14000	<input type="checkbox"/>
リヤ	オリジナル	説明	7500	<input type="checkbox"/>
	スポーツG TYPE	説明	13000	<input checked="" type="checkbox"/>
	スポーツG2 TYPE	説明	18000	<input type="checkbox"/>
	スポーツR TYPE	説明	19000	<input type="checkbox"/>

G2

G3

次へ

G4

【図11】

I

手 順 →	メーカー 選択	車種 選択	排気量・型式・ 年式選択	PAD タイプ選択	交換 サービス付	整備工場 選択	取付希望日 入力	申 込
					商品のみ 購入	自宅へ配送		
						店舗受取	店舗選択	

メーカー: ニッサン    車種: セドリック・グロリア    排気量: 3000    型式: HBY33  
 年式: H7. 8 ~  
 フロントPAD: HQP  
 リヤ PAD: オリジナル  
 取付け方法を選択してください

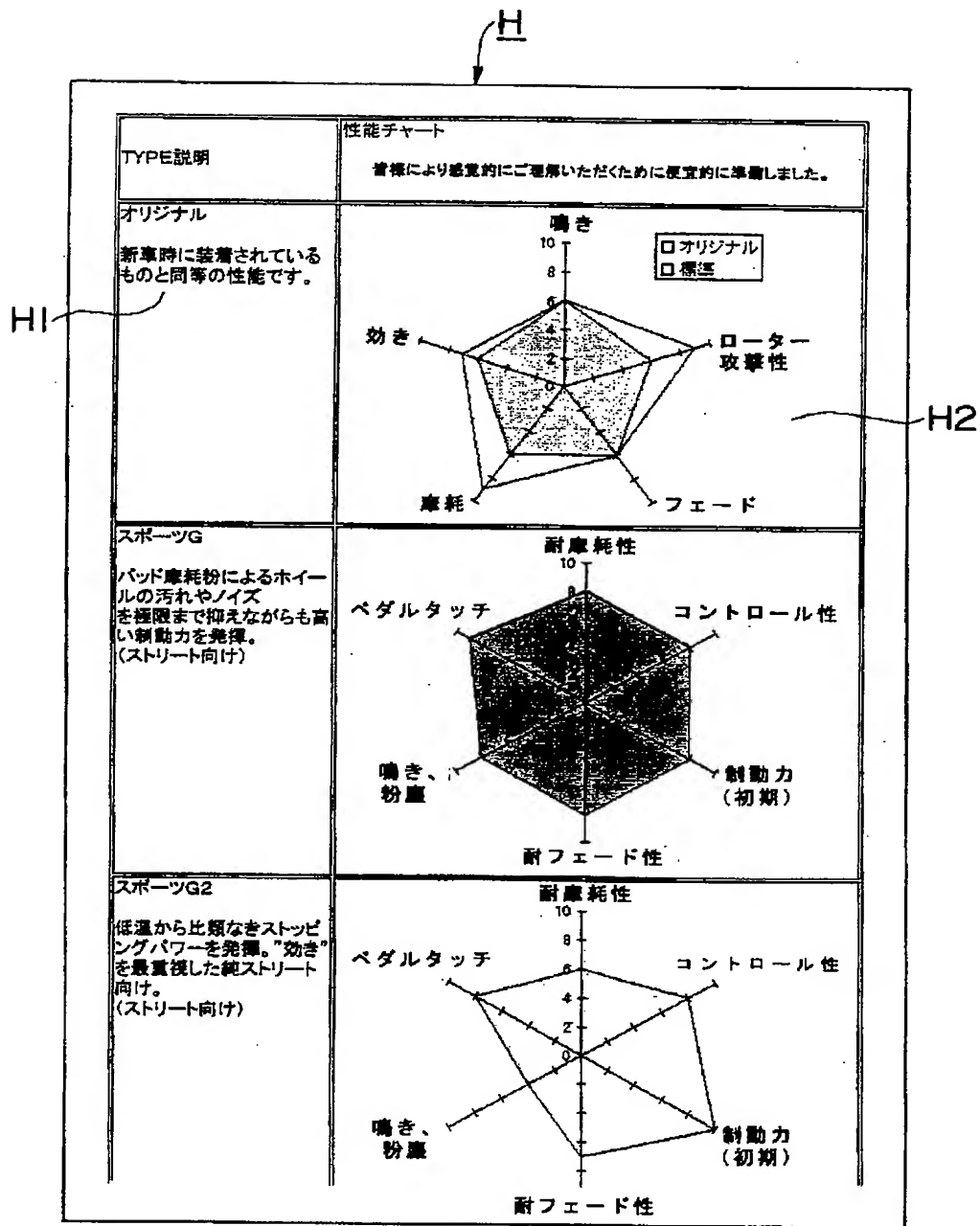
---

交換サービス付き(有料)

商品のみ購入

I4  
 次へ

【図12】



【図13】

J

手順 一	メーカー 選択	車種 選択	排気量・型式・ 年式選択	PAD タイプ選択	交換	整備工場	取付希望日	申込
					サービス付	選択	入力	
					商品のみ 購入	自宅へ配送		
						店舗受取	店舗選択	

メーカー: ニッサン 車種: セドリック・グロリア 排気量: 3000 型式: HB Y33


年式: H7. 6~

フロントPAD : HQP


リヤ PAD : オリジナル

---


ご希望のエリアを選択して下さい。下記以外の地域も順次展開中です。




埼玉 J2




東京 J2




神奈川 J2




静岡 J2




愛知 J2



大阪 J2



播磨 J2(J3)



熊本 J2

J1

【図14】

K

手順 →	メーカー 選択	車種 選択	排気量・型式・ 年式選択	PAD タイプ選択	交換 サービス付	整備工場 選択	取付希望日 入力	申込
					商品のみ 購入	自宅へ配送		
						店舗受取	店舗選択	

メーカー:ニッサン 車種:セドリック・グロリア 排気量:3000 型式:HBV33  
 年式:H7.6～  
 フロントPAD:HQP  
 リヤ PAD:オリジナル

---

ご希望のエリアを選択して下さい。

The map shows the Kyushu region with the following labels and designations:

- 北九州** (North Kyushu)
- 福岡** (Fukuoka)
- 筑豊** (Tsukuyoshi)
- 筑後** (Tsukugo)
- K1**: Designates the North Kyushu area.
- K2**: Designates the Tsukuyoshi and Tsukugo areas.
- K2(K3)**: Designates the Fukuoka area.

【図15】

L

手 順 →	メーカー 選択	車種 選択	排気量・型式・ 年式選択	PAD タイプ選択	交換 サービス付 商品のみ 購入	整備工場 選択	取付希望日 入力	申 込
						自宅へ配送		
						店舗受取	店舗選択	

メーカー: ニッサン 車種: セドリック・グロリア 排気量: 3000 型式: HBY33

年式: H7. 5~

フロントPAD: HQP

リヤー PAD: オリジナル

---

整備工場を選択して下さい

---

地図の見方: 整備工場は地図の中央に「+」印で表示されています。

工場	住所	TEL	営業時間	定休日	地図	
九州安全モーター(株)福岡工場	福岡市東区箱崎5-7-3	092-841-2406	日曜・祝日・第2土曜	8:30~17:00	MAP	選択

L1

L2

L3

【図16】

N

手順 →	メーカー 選択	車種 選択	排気量・型式・ 年式選択	PAD タイプ選択	交換 サービス付	整備工場 選択	取付希望日 入力	申込
					商品のみ 購入	自宅へ配送		
					店舗受取	店舗選択		

メーカー: ニッサン 車種: セドリック・グロリア 排気量: 3000 型式: HB Y33

年式: H7. 8~

フロントPAD: HGP

リヤー PAD: オリジナル

整備工場: 九州安全モーター(株)福岡工場

---

取付希望日を指定して下さい

(指定方法→カレンダーの希望日をクリックしたのち、ボタン「希望日1~3」を押して下さい。)

本日から5日後より翌々月まで指定できます。(例: 04月01日の場合04月08日~06月30日)

10月							11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					01	02		01	02	03	04	05	06				01	02	03	04
03	04	05	06	07	08	09	07	08	09	10	11	12	13	05	06	07	08	09	10	11
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30					26	27	28	29	30	31	

希望日1  
1130

希望日2  
1215

希望日3  
1227

次へ

希望日1  
N3

希望日2  
N3

希望日3  
N3

N5

N4

N5

N4

N5

N4

N2

N6

【図21】

Q

メーカー:ニッサン 車種:セドリック・グロリア 排気量:3000 型式:HBV33  
年式:H7. 6~  
フロントPAD:HQP  
リヤー PAD:オリジナル

---

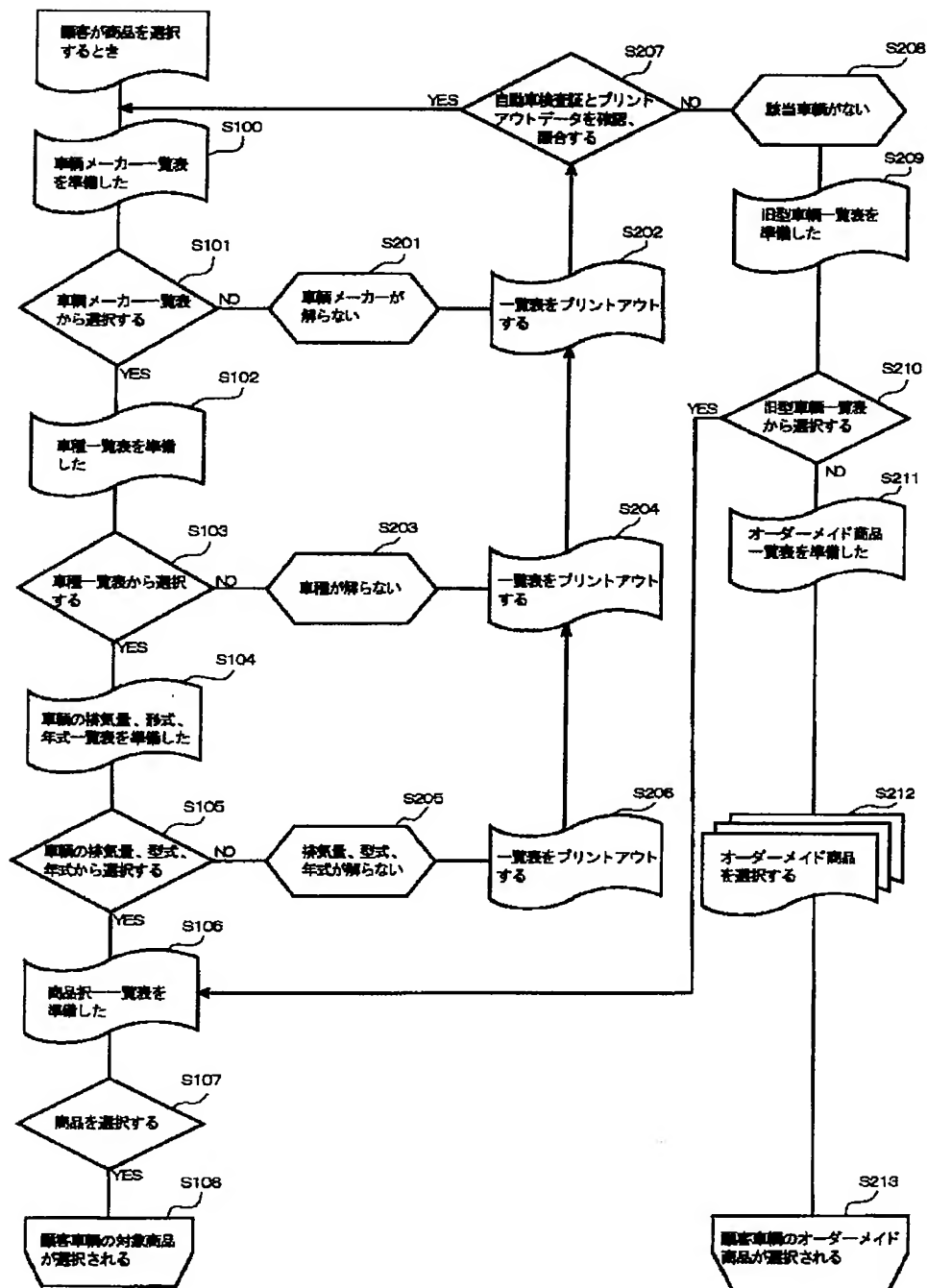
受取方法を選択して下さい。

自宅へ配送(代引き) Q1

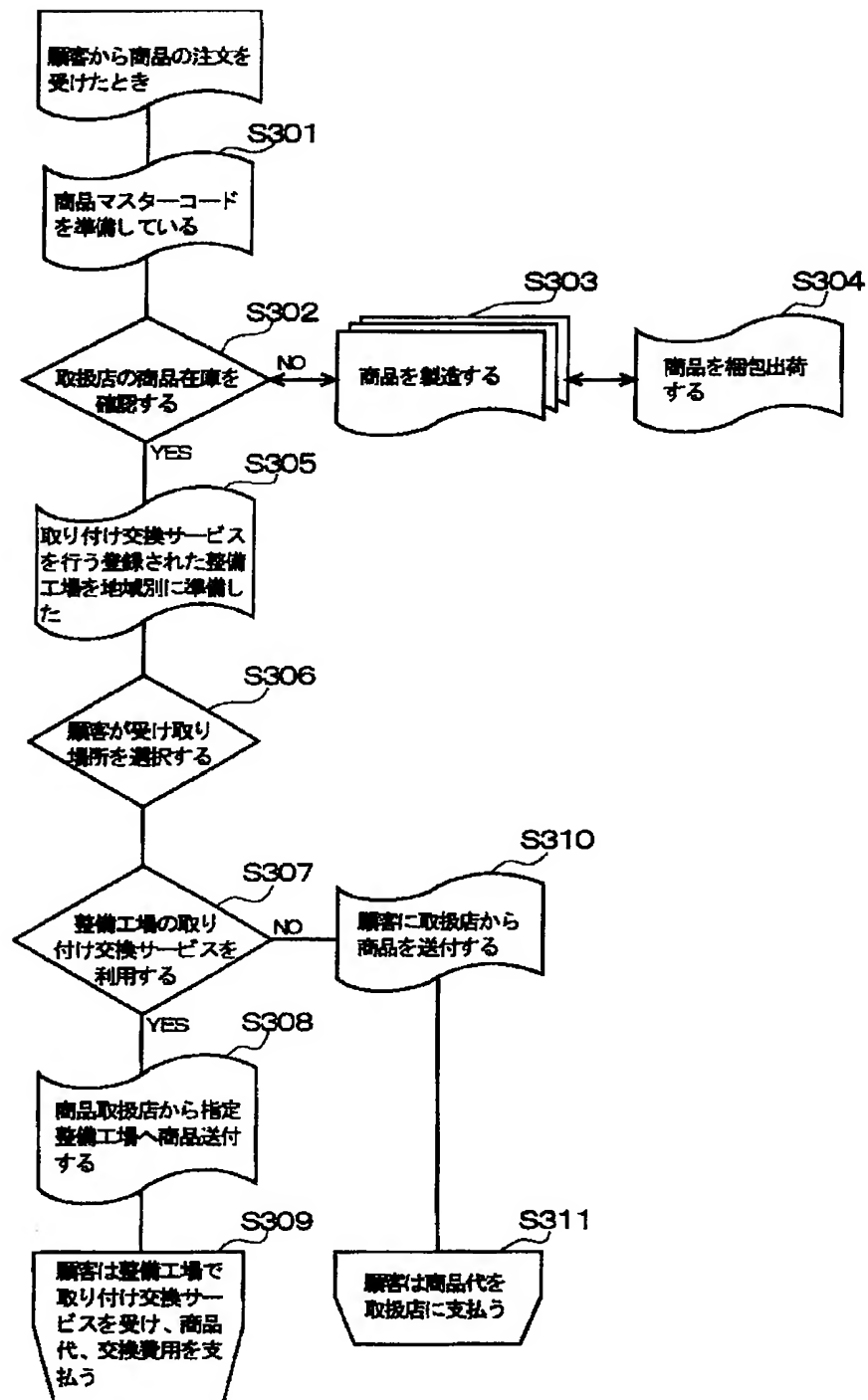
店頭での受取 Q2

説明	自宅へ配送	通常申し込み日の5日後に配送されます。	Q3
	店頭での受け取り	通常申し込み日の4日後に受取できます。	
	配送日・受取可能日は申し込み受付後メールにてご案内します。		

【図22】



【図23】



フロントページの続き

F ターム(参考) 5B049 AA01 BB16 CC03 CC05 CC27  
CC31 CC36 EE05 EE07 FF01  
GG02 GG04  
5B089 GA11 GA21 HA10 JA08 KC15

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第3区分  
 【発行日】平成18年11月2日(2006.11.2)

【公開番号】特開2001-188834(P2001-188834A)  
 【公開日】平成13年7月10日(2001.7.10)  
 【出願番号】特願平11-371960  
 【国際特許分類】

G 0 6 Q 30/00 (2006.01)  
 G 0 6 Q 10/00 (2006.01)  
 G 0 6 F 13/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/60 3 0 2 A  
 G 0 6 F 17/60 3 1 8 H  
 G 0 6 F 17/60 3 2 6  
 G 0 6 F 17/60 5 0 2  
 G 0 6 F 13/00 3 5 5

【手続補正書】  
 【提出日】平成18年9月12日(2006.9.12)  
 【手続補正1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0035  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0035】

また、図10に示す画像Gの構成について説明する。この画像Gでは、商品管理用サーバ21のホームページテーブル7及び部品テーブル4から読み出されるデータに基づき、前記画像E、Fで特定された車種に装着する商品(ブレーキパッド)を選択できる商品振一覧表G1が表示される。この商品振一覧表G1には、部品メーカー2の販売する複数の商品(ブレーキ・パッド)がその性能、特性別に示されている。また、各商品には、その性能を表示する画像Hにリンクしたアイコン(説明)G2が付されるとともに、商品を選択するためのアイコン(□)G3が付されている。また、画面右下には商品の取付方法を選択できる画像Iにリンクしたアイコン(次へ)G4が表示される。

【手続補正2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0037  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0037】

また、図13に示す画像Jの構成について説明する。この画像Jは、商品管理用サーバのホームページテーブル7及び整備工場テーブルから読み出されるデータに基づき、商品の受取場所(交換サービス施工場所)を入力できる都道府県一覧J1が表示される。この都道府県一覧J1には、交換サービスの施工場所となる都道府県名と、その都道府県名に対応する神奈川、東京、福岡、大坂等の名称に対応したアイコンJ2が付されている。なお、アイコンJ2は各都道府県の名称に加えて地域、地方名を入力できる画像Kにリンクされている。

【手続補正3】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0039

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0039】

また、図15に示す画像Lの構成について説明する。この画像Lでは、商品管理用サーバのホームページテーブル7及び整備工場テーブルから読み出されるデータに基づき、交換サービスの施工場所を選択できる整備工場一覧L1が表示される。この整備工場一覧L1には、幾つかの整備工場名、及びその住所、電話番号、営業時間、定休日が表示される。また、各整備工場には最寄りの地図を示す画像Mにリンクしたアイコン(MAP)L2が付されるとともに、商品の交換サービスを希望する日程を指定する画像Nにリンクされたアイコン(選択)L3が表示される。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0040

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0040】

また、図16に示す画像Nの構成について説明する。この画像Nでは、商品管理用サーバの整備工場テーブルから読み出されるデータに基づき、交換サービスの施工日を指定できるカレンダーN1が表示される。詳しくは、このカレンダーN1は予め定められた期間内において第1希望日～第3希望日までを指定できる。また、このカレンダーN1の各日ごとに希望日指定用のアイコン(○)N2が表示される。そして、カレンダーの下方にはアイコン(○)N2で指定した希望日の設定用アイコン(希望日1、希望日2、希望日3)N3が表示される。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0046】

このように本発明の実施の形態では、部品メーカー主催のホームページ上に商品択一手段となる画像D～Hと、整備工場の指定手段となる画像J～Lと、施工日申請手段となる画像N及び画像Oが、クライアントの要望に応じて適宜に表示される。このため、ユーザーは自ら各種情報を入力することにより所望の商品を注文することができる。また、その商品の受取場所、交換サービス施工場所となる整備工場を選択することができる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0069

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0069】

ここで、アイコン(交換サービス付き(有料))I1は、交換サービスの施工場所を選択できる画像Jにリンクされている。また、アイコン(商品のみ購入)I3は、商品の受取場所のみを選択できる画像Kにリンクされている。そして、ユーザー端末24は、表示装置26に表示されたアイコンI1又はアイコンI2のドラッグを待つとともに、アイコンI4がクリックされるのを待つ。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0086

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 8 6 】

この画像 P には、注文の受認をクライアント 1 に知らせるメッセージ P 1 が表示されるとともに、その注文に対応する受付番号 P 2 が表示される。また、ホームページのトップページとなる画像 A にリンクされたアイコン (H O M E) P 3 が表示される。このようにユーザーは自ら各種情報を入力することにより所望の商品を注文することができる。また、その商品の受取場所、交換サービス施工場所となる整備工場を選択することができる。